

県内景況は後退

目次

調査要領

1. 概況	-----	2
2. 業況判断	製造業、非製造業とも悪化	3
3. 売上	製造業は横ばい、非製造業は悪化	3
4. 受注	製造業、建設業とも悪化	4
5. 経常利益	製造業、非製造業とも悪化	4
6. 在庫	製品在庫、原材料在庫ともほぼ横ばい	4
7. 販売価格・仕入価格	仕入価格：製造業、非製造業とも上昇幅が拡大	5
8. 資金繰・借入金残高	資金繰：製造業、非製造業とも悪化	5
9. 雇用	製造業は過剰感に転じる	6
10. 設備投資	製造業、非製造業とも減少	6
11. 経営上の問題点	「仕入れ価格の上昇」・「過当競争」が増加	7

調査要領

- 調査目的** 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため。
- 調査対象** 県内企業232社、回答企業105社、回答率45.3%。
- 調査方法** 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答。
- 調査対象期間** 平成20年1～3月実績及び平成20年4～6月予想。
- 調査時点** 平成20年4月中旬～下旬。

業種別回答企業数

		回答企業数	構成比	うち中小企業	構成比
製 造 業	食 料 品	10	9.5	10	100.0
	織 維 ・ 縫 製	4	3.8	4	100.0
	木 材 ・ 木 製 品	3	2.9	3	100.0
	紙 ・ 紙 加 工 品	5	4.8	5	100.0
	窯 業 ・ 土 石	4	3.8	4	100.0
	金 属 ・ 機 械	12	11.4	11	91.7
	電 気 機 械	12	11.4	8	66.7
	印 刷 ・ そ の 他	6	5.7	6	100.0
計		56	53.3	51	91.1
非 製 造 業	建 設 業	13	12.4	13	100.0
	卸 売 業	19	18.1	17	89.5
	小 売 業	9	8.6	5	55.6
	運 輸 業	4	3.8	4	100.0
	旅 館 ・ ホ テ ル	4	3.8	4	100.0
計		49	46.7	43	87.8
全 部 門 合 計		105	100.0	94	89.5

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業... 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業
- 卸 売 業..... 資本金1億円以下または従業員100人以下の企業
- 小 売 業..... 資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業
- サ ー ビ ス 業..... 資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

BSIとは

ビジネス・サーバイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。BSIがプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

1 概 況.....県内景況感は後退

鳥取県企業動向調査によると、平成20年1～3月の「自社業況の総合判断」は、製造業では、金属・機械や食料品などが悪化したことから「悪化」に転じ、非製造業も建設業や運輸業などで悪化幅が拡大したことから悪化幅が拡大し、全産業のBSIは11.5と前期比(6.5)5.0ポイントと悪化し、景況感は後退した。

製造業は業種別にみると、繊維・縫製と電気機械などで改善したが、金属・機械や食料品は「悪化」に転じ、紙・紙加工品は悪化幅が拡大したことから、全体でも「悪化」に転じた。非製造業では小売業を除く全ての業種で悪化幅が拡大したことから、全体でも悪化幅が拡大した。

先行きの景況感は、4～6月は製造業、非製造業とも引き続き悪化幅が僅かながら拡大することから、全産業でも悪化幅が拡大する予想である。

1. 業種別の景況

製造業の景況感は、2四半期ぶりに「悪化」に転じた。(+3.0 3.5)

非製造業の景況感は、前期比4.0ポイント悪化し、44四半期連続でマイナスとなった。(16.5 20.5)

2. 売上高の景況

売上高のBSIは、製造業が前年と同水準であったが、非製造業は僅かながら減少幅が拡大したことから、全産業でも減少幅が拡大した。(4.0 4.5)

3. 受注高の景況

受注高のBSIは、製造業は8四半期ぶりに減少に転じ、建設業は減少幅が拡大したことから、全産業でも減少幅が拡大し、44四半期連続で減少となった。(1.0 6.0)

4. 経常利益の景況

経常利益のBSIは、製造業が3四半期ぶりに減少に転じ、非製造業の減少幅も拡大したことから、全産業でも減少幅が拡大した。(7.5 15.5)

5. 販売価格、仕入価格の景況

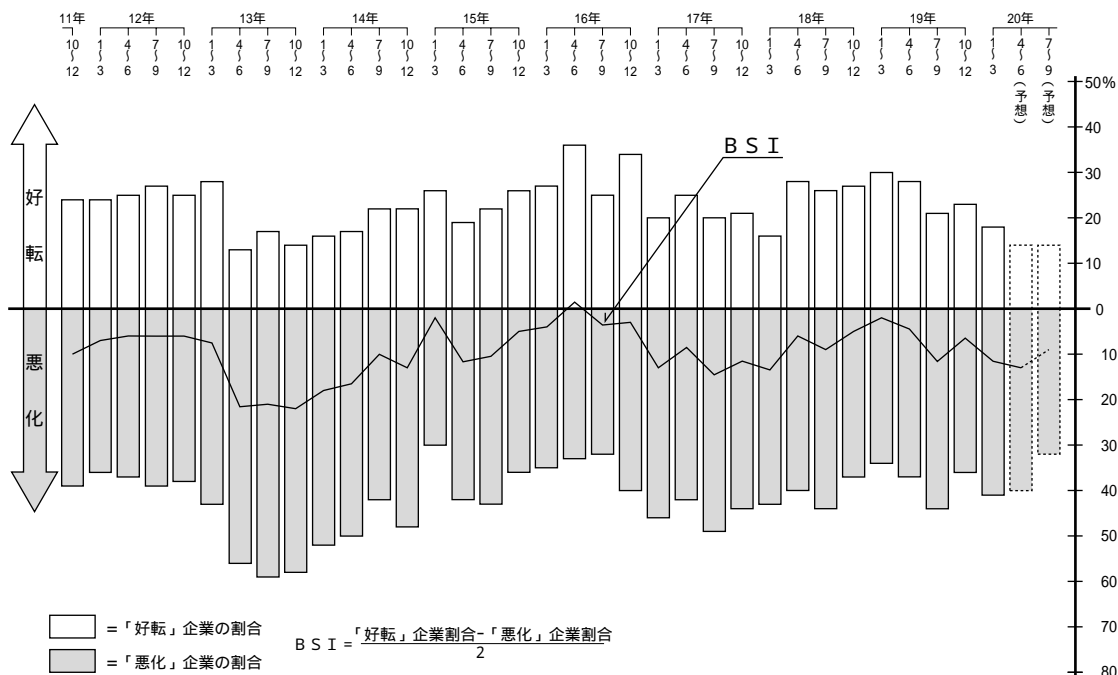
販売価格のBSIは、製造業で低下幅が縮小し、非製造業は上昇に転じたことから、全産業でも上昇に転じた。(6.5 +1.5)

仕入価格のBSIは、製造業、非製造業とも上昇幅が拡大したことから、全産業でも上昇幅が拡大し、21四半期連続の上昇となった。(+29.5 +32.5)

6. 経営上の問題点

経営上の問題点(大きいものから2項目の選択)についての上位項目(全産業)は、「仕入価格の上昇」を選択する企業が全体の52%、「売上・受注の減少」が44%、「過当競争」・「先行き見通し難」がともに16%、「資金繰り難」が15%となった。「仕入価格の上昇」が前回調査より5ポイント上昇し、初めて50%を超した。また、「資金繰り難」が15%と3四半期連続で上昇した。

図 - 1 自社業況の総合判断の推移



2 業況判断.....製造業、非製造業とも悪化

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて経営者の判断を示す「自社業況の総合判断」のBSI（「好転の割合 - 悪化の割合」÷ 2）は、20年1～3月は11.5で、10～12月の6.5より5.0ポイント悪化し、前回（20年1月）調査の先行き予想の9.5からも2.0ポイント悪化した。

今後の予想のBSIは、20年4～6月は13.0、7～9月は9.0となる予想である。

製造業の業況判断のBSIは19年10～12月の+3.0から1～3月は、食料品や金属・機械などが悪化し、3.5と6.5ポイント悪化し2四半期ぶりに「悪化」に転じた。先行き4～6月は電気機械や金属・

機械が悪化することなどから5.5と引き続き悪化するが、7～9月は1.0と僅かながら改善する予想となっている。

非製造業の業況判断のBSIは、平成19年10～12月の16.5から1～3月は小売業を除く全ての業種で悪化したことから20.5と4.0ポイント悪化幅が拡大した。先行き4～6月は、小売業も「悪化」に転じることなどから、21.5と僅かながら悪化幅が拡大する予想である。7～9月は建設業や卸売業、旅館・ホテルで悪化幅が縮小することなどから17.5と僅かながら改善する予想となっている。

図 - 2 業況総合判断（製造業）

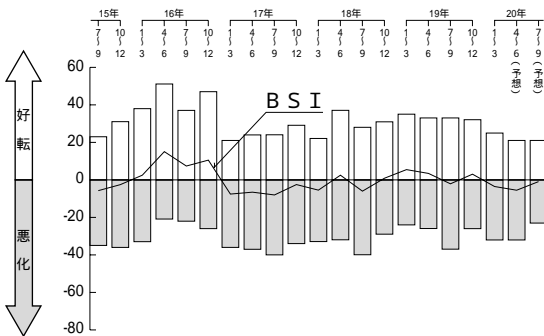
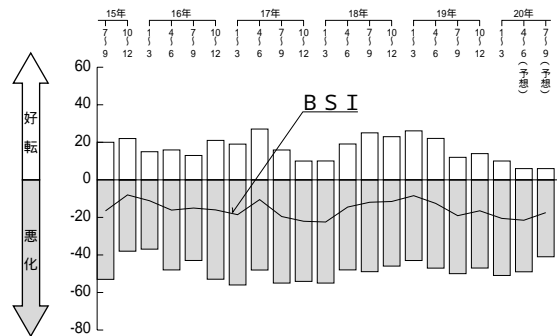


図 - 3 業況総合判断（非製造業）



3 売上.....製造業は横ばい、非製造業は僅かながら悪化

製造業は横ばいとなり、非製造業は減少幅が僅かながら拡大した。

製造業は食料品や電気機械などが増加に転じたが、金属・機械や紙・紙加工品は増加幅が縮小し、印刷・その他で減少幅が拡大したことから、平成20年1～3月のBSIは、10～12月と同水準の+2.0となった。4～6月は金属・機械や紙・紙加工品などが悪化することなどから1.5と7四半期ぶりに減少に転じる予想である。

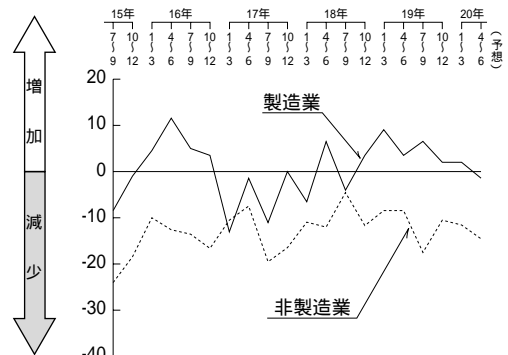
非製造業は小売業が増加に転じたが、卸売業や運輸業などで減少幅が拡大したことから、20年1～3月のBSIは、10～12月の10.5から11.5と僅かながら減少幅が拡大した。4～6月は運輸業や卸売業で減少幅が縮小するが、建設業で減少幅が大幅に拡大することなどから14.5と引き続き悪化幅が拡大する予想となっている。

なお、売上高の回答の集計は、全産業（回答のあった49社の加重平均）では、20年1～3月の実績は製造業、非製造業とも増加したことから、前年同期比+4.3%だった。4～6月の予想は、製造業・非製造業ともに増加幅は縮小するが、引き続き増加することから、同+1.0%の予想となっている。

産業別にみると、製造業（32社）は20年1～3月

の実績は、金属・機械や食料品などが増加したことなどから、同3.1%増加した。4～6月の予想は、引き続き金属・機械や食料品が増加することから同+1.6%の予想である。非製造業（17社）は、1～3月の実績は建設業が大幅に増加し同+5.1%となった。4～6月の予想も同+0.6%と増加幅が縮小する予想となっている。

図 - 4 売上高のBSI



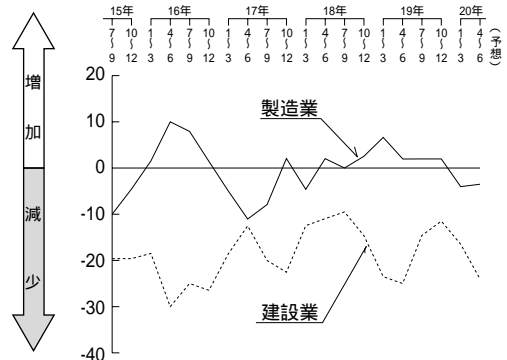
4 受注.....製造業、建設業とも悪化

建設業は減少幅が拡大し製造業は減少に転じた。

製造業は繊維・縫製や印刷・その他などが改善したが、金属・機械や紙・紙加工品などが悪化し、20年1～3月の受注高BSIは4.0と10～12月の+2.0から6ポイント悪化した。4～6月は、金属・機械などで減少幅が拡大するが、電気機械が増加に転じることなどからBSIは3.5とわずかながら改善する予想である。

建設業の受注高BSIは、19年10～12月の11.5から1～3月は16.5と3四半期ぶりに減少幅が拡大した。4～6月も24.5と大幅に減少幅が拡大する予想となっている。

図 - 5 受注額のBSI



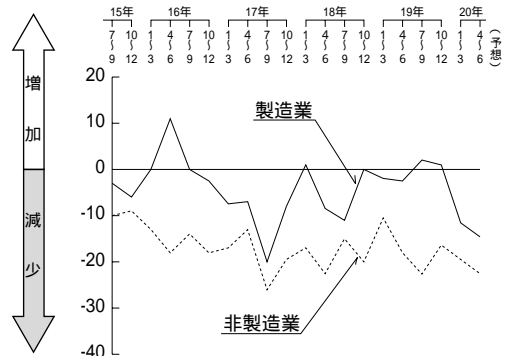
5 経常利益.....製造業、非製造業とも悪化

製造業は減少に転じ、非製造業は減少幅が拡大した。

製造業は、印刷・その他と繊維・縫製で改善したが、金属・機械や紙・紙加工品が減少に転じたことなどから、BSIは19年10～12月の+1.0から1～3月は11.5と6四半期ぶりに減少に転じた。4～6月も金属機械や電気機械などで減少幅が拡大することから14.5と2四半期連続で減少となる予想である。

非製造業は、卸売業で減少幅が縮小したが、小売業が減少に転じ、建設業などで減少幅が拡大したことから、20年1～3月のBSIは19.5と10～12月より3.0ポイント悪化した。4～6月は小売業や卸売業で減少幅が拡大することなどから22.5と引き続き減少幅が拡大する予想となっている。

図 - 6 経常利益のBSI



6 在庫.....製品在庫、原材料在庫ともほぼ横ばい

製品在庫はほぼ横ばい、商品在庫は過剰感が減少した。

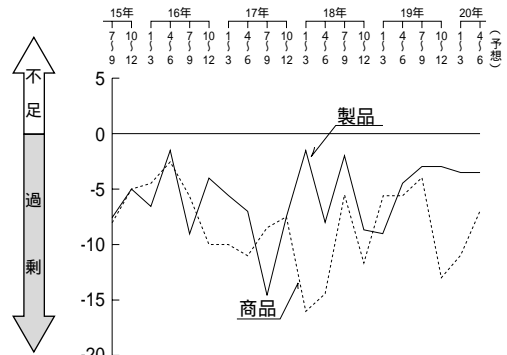
製品在庫(製造業)のBSI「(不足-過剰)÷2」は窯業・土石で不足感が増加し、電気機械や木材・木製品で過剰感が減少したが、食料品が過剰感に転じたことから、20年1～3月のBSIは3.5となり10～12月の3.0から0.5ポイントと僅かながら過剰感が増加した。4～6月は食料品で過剰感が減少し、紙・紙加工品で不足感が増加することから、BSIは3.5と同水準で推移する予想となっている。

商品在庫(卸小売業)のBSIは、小売業が同水準で推移し、卸売業で過剰感が減少したことから、全体では20年1～3月は10～12月の13.0から2.0ポイント改善し11.0となった。4～6月は小売業で過剰感が大幅に減少することから7.0と引き続き改善する予想である。

製造業の原材料在庫は、印刷・その他で不足感が増加したことなどから、19年10～12月の±0.0から0.5ポイント不足感が増加し+0.5となった。4～6

月は、木材・木製品や金属・機械が不足感に転じることなどから、BSIは+2.5と不足感が増加する予想となっている。

図 - 7 製品・商品在庫のBSI



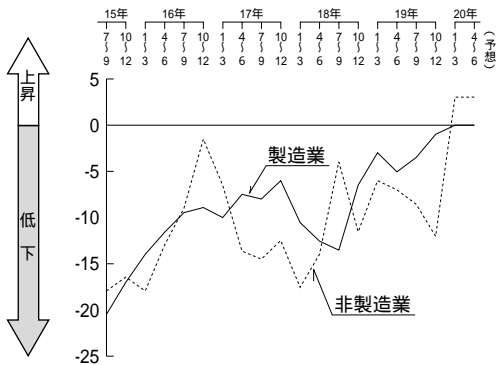
7 販売価格・仕入価格.....仕入価格：製造業、非製造業とも上昇幅の拡大が続く

販売価格は非製造業が上昇に転じた。

製造業の販売価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は、食料品や紙・紙加工品で上昇幅が縮小したが、電気機械や印刷・その他で低下幅が縮小したことなどから、19年10～12月の1.0から1～3月は±0.0と低下幅が縮小した。4～6月は食料品などで上昇幅が拡大するが、電気機械などで低下幅が拡大することから、BSIは±0.0と同水準で推移する予想である。

非製造業の販売価格のBSIは、建設業で低下幅が縮小し、卸売業が上昇に転じたことなどから、20年1～3月のBSIは+3.0と上昇に転じた。4～6月は建設業で低下幅が縮小し、小売業などで上昇幅が縮小することからBSIは+3.0と同水準で推移する予想となっている。

図 - 8 販売価格のBSI

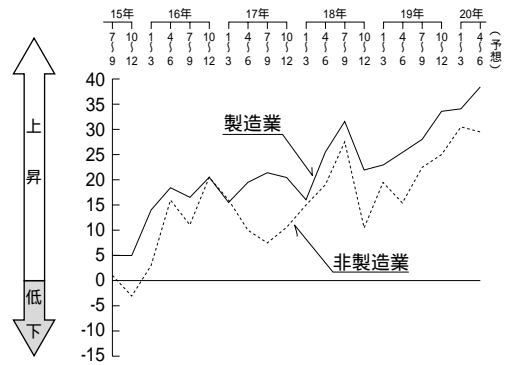


仕入価格は製造業、非製造業とも上昇幅の拡大が続いた。

製造業の原材料仕入価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は食料品や印刷・その他などで上昇幅が縮小したが、電気機械や窯業・土石などで上昇幅が拡大したことなどから、19年10～12月の+33.5から1～3月は+34.0と0.5ポイント上昇幅が拡大した。4～6月は、食料品や金属・機械などで上昇幅が拡大することから、BSIは+38.5と上昇幅が引き続き拡大する予想となっている。

非製造業の仕入価格のBSIは、卸売業や小売業で上昇幅が拡大したことなどから、BSIは10～12月の+25.0から20年1～3月は+30.5と上昇幅が拡大した。4～6月は卸売業と小売業で上昇幅が縮小することなどから、+29.5と上昇幅が縮小する予想である。

図 - 9 仕入価格のBSI



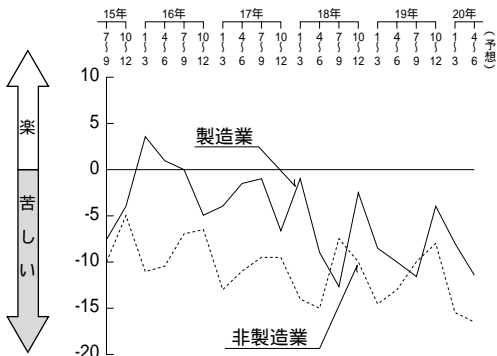
8 資金繰り・借入金残高.....資金繰り：製造業、非製造業とも悪化

資金繰りは製造業、非製造業とも悪化した。

製造業の資金繰りのBSI「(楽-苦しい)÷2」は木材・木製品や金属・機械などが悪化したことなどから、19年10～12月の4.0から1～3月は8.0と悪化した。4～6月も引き続き11.5と悪化する予想である。

非製造業のBSIは、20年1～3月は建設業や卸売業が悪化したことなどから15.5と10～12月の8.0から悪化した。4～6月も卸売業などが悪化することから16.5と悪化する予想となっている。

図 - 10 資金繰りのBSI

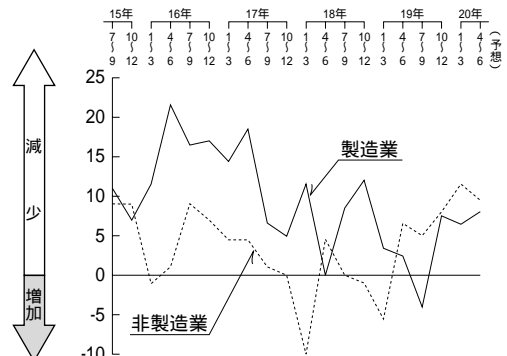


借入金残高は非製造業で減少幅が拡大した。

製造業の借入金残高のBSI「(減少-増加)÷2」は電気機械や金属・機械で減少幅が縮小したことなどから、19年10～12月の+7.5から1～3月は+6.5と減少幅が縮小した。4～6月は+8.0と減少幅が拡大する予想である。

非製造業の20年1～3月のBSIは、卸売業が減少に転じたことなどから10～12月の+8.0から+11.5と減少幅が拡大した。4～6月は+9.5と再び減少幅が縮小する予想となっている。

図 - 11 借入金残高のBSI



9 雇 用..... 製造業は過剰感に転じた

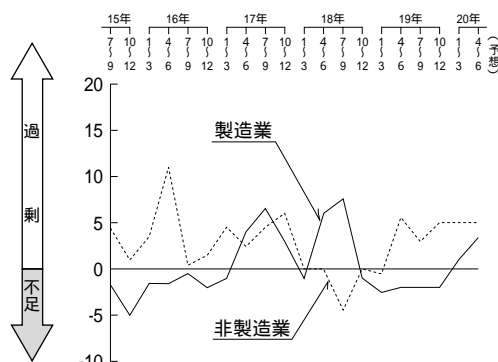
常用雇用者BSIは、製造業は過剰感に転じ、非製造業は横ばいだった。先行きは製造業が過剰感が増加し、非製造業は過剰感が減少する予想となっている。

製造業の20年1～3月の常用雇用者BSI「(過剰-不足)÷2」は、繊維・縫製や窯業・土石が不足感に転じたが、木材・木製品が過剰感に転じ、電気機械や印刷・その他で過剰感が増加したことから、10～12月の2.0から+1.0と過剰感に転じた。4～6月は食料品が過剰感に転じることなどから+3.5と引き続き過剰感が増加する予想である。

非製造業のBSIは19年10～12月の+5.0から、20年1～3月は建設業や卸売業で過剰感が増加したが、小売業などで不足感が増加したことなどから、+5.0と同水準で推移した。4～6月は建設業で過剰感が減少することなどから+3.0と過剰感が減少

する予想となっている。

図 - 12 雇用(常用雇用者)のBSI



10 設備投資..... 製造業、非製造業とも減少

20年1～3月に設備投資をした企業は回答企業の31%で前年同期実績(32%)を1ポイント下回った。4～6月の設備投資計画は28%で前年同期実績(25%)を3ポイント上回る計画となっている。

製造業の20年1～3月の設備投資の実施割合は、電気機械や食料品が低下したことから43%と前年同期実績(46%)より3ポイント下回った。投資目的(複数回答、構成比、この項目は建設業を含む)は、「補修・更新」が67%、「増産・能力増強」が38%、「新製品の生産」・「研究開発」がともに21%、「合理化・省力化」が17%だった。4～6月の実施計画は電気機械や金属・機械などが上昇することなどから39%と前年同期実績(33%)より6ポイント上回る計画である。

非製造業の1～3月の実施割合は19%と前年同期実績(20%)を1ポイント下回った。小売業や建設業などが上昇したが、運輸業や旅館・ホテルなどが低下した。投資目的(建設業を除く)は、「補修・更新」が75%、「販売力の増強」が25%、「新規事業(店舗移設含む)」が13%だった。4～6月の実施計画は17%と前年同期実績(17%)と同水準となる計画となっている。

表 - 1 業種別設備投資企業割合

()内は前年同期実績：単位%

	19年10～12月 実	20年1～3月 績 実	20年4～6月 績 計 画
全 産 業	33(35)	31(32)	28(25)
食 料 品	60(55)	30(40)	50(44)
繊 維 ・ 縫 製	25(25)	0(0)	0(0)
木 材 ・ 木 製 品	0(50)	0(0)	0(0)
紙 ・ 紙 加 工 品	33(25)	40(33)	20(33)
窯 業 ・ 土 石	0(40)	0(0)	0(0)
金 属 ・ 機 械	54(62)	64(55)	64(45)
電 気 機 械	80(60)	67(79)	67(58)
印 刷 ・ そ の 他	25(29)	50(44)	0(22)
製 造 業	44(48)	43(46)	39(33)
建 設 業	7(13)	8(6)	8(7)
卸 売 業	28(12)	11(12)	11(7)
小 売 業	33(43)	44(33)	33(40)
運 輸 業	25(25)	50(75)	0(45)
旅 館 ・ ホ テ ル	25(20)	0(20)	50(0)
非 製 造 業	22(21)	19(20)	17(17)

図 - 13 設備投資実施企業の割合の推移

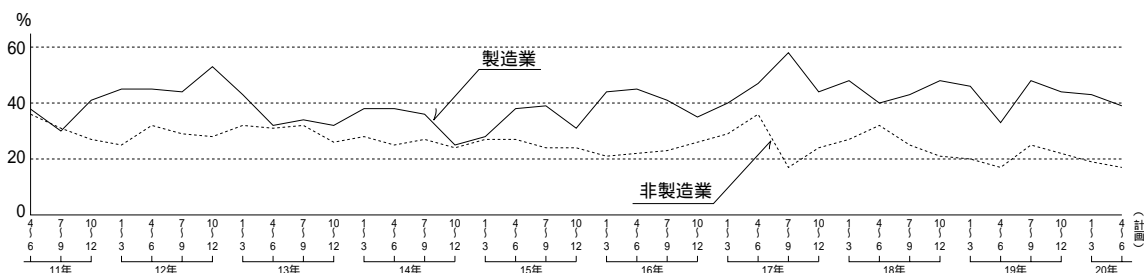
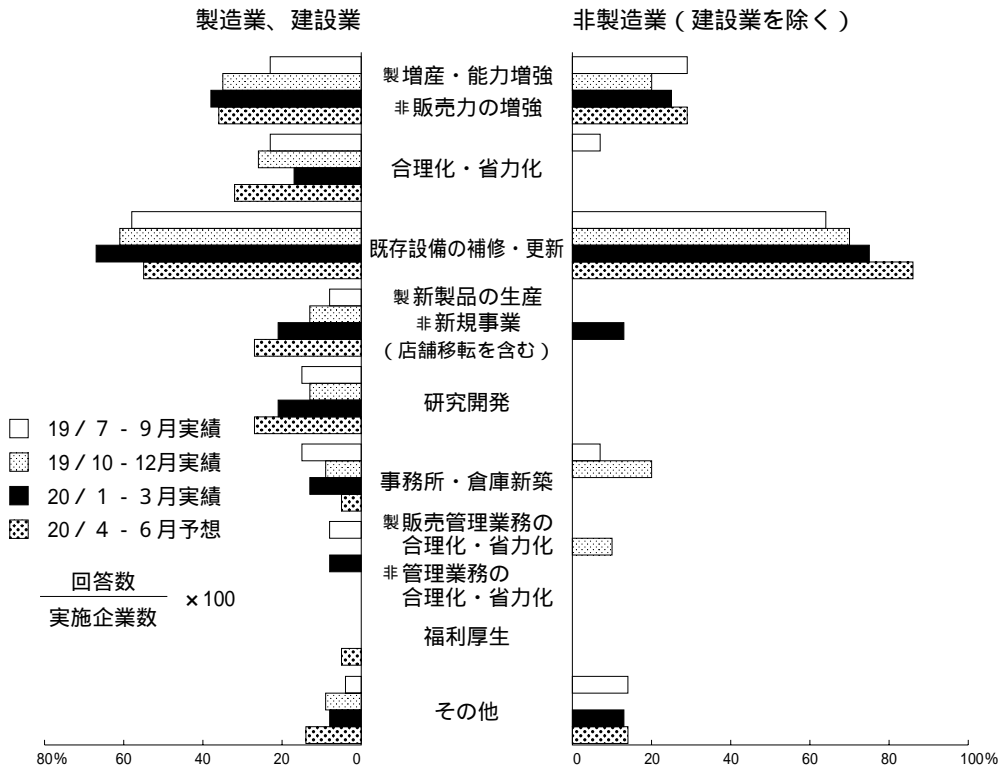


図 - 14 産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



11 経営上の問題点……「仕入れ価格の上昇」、「過当競争」が増加

20年1～3月実績の経営上の主な問題点（2項目までの選択、回答なしを含む）は、「仕入れ価格の上昇」52%（20年1月調査47%）、「売上・受注の減少」44%（同45%）、「過当競争」16%（同13%）、「先行き見通し難」16%（同18%）が上位項目だった。

4～6月は「先行き見通し難」や「販売価格の低下」などが増加する予想となっている。

製造業の上位項目は「仕入れ価格の上昇」66%（20年1月調査55%）、「売上・受注の減少」39%（同35%）、「諸経費の増加」14%（同20%）、「資金繰り難」14%（同10%）の順だった。4～6月は、原油価格の高騰をはじめとした原材料価格の高止まりに対する不安感から「先行き見通し難」が上昇する予想となっている。

非製造業の上位項目は「売上・受注の減少」49%（20年1月調査55%）、「仕入れ価格の上昇」37%（同39%）、「過当競争」27%（同18%）、「先行き見通し難」22%（同16%）、「資金繰り難」16%（同16%）、「販売価格の低下」12%（同18%）の順だった。4～6月は「売上・受注の減少」や「先行き見通し難」などが増加する予想である。

全国的な景気回復のなか、鳥取県内の景気回復の

遅れから、企業業績への影響が現れ資金繰り等に対する不安感が増加している状況が窺える。

図 - 15 経営上の問題点（上位5項目）

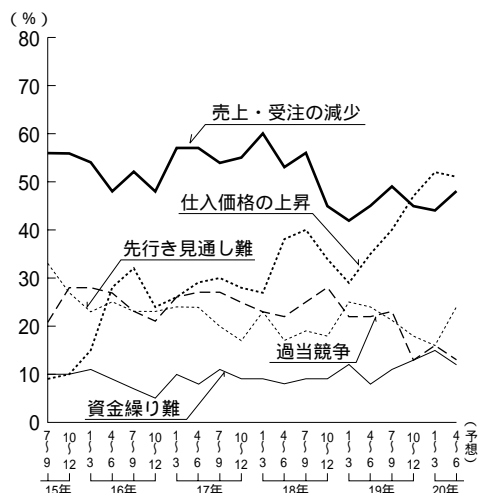


表 - 2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	19年10～12月実績				20年1～3月実績				20年4～6月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2
全産業		23	41	36	6.5	18	41	41	11.5	14	46	40	13.0
食料品		33	50	17	8.0	20	40	40	10.0	20	60	20	0.0
繊維・縫製		25	50	25	0.0	75	25	0	37.5	50	50	0	25.0
木材・木製品		33	34	33	0.0	33	34	33	0.0	0	100	0	0.0
紙・紙加工品		33	34	33	0.0	0	60	40	20.0	0	60	40	20.0
窯業・土石		0	50	50	25.0	25	25	50	12.5	25	25	50	12.5
金属・機械		54	38	8	23.0	16	42	42	13.0	25	17	58	16.5
電気機械		40	20	40	0.0	33	42	25	4.0	25	50	25	0.0
印刷・その他		0	75	25	12.5	17	66	17	0.0	17	50	33	8.0
製造業		32	42	26	3.0	25	43	32	3.5	21	47	32	5.5
建設業		14	29	57	21.5	15	23	62	23.5	8	23	69	30.5
卸売業		17	27	56	19.5	11	36	53	21.0	10	43	47	18.5
小売業		11	67	22	5.5	11	78	11	0.0	0	78	22	11.0
運輸業		0	75	25	12.5	0	25	75	37.5	0	25	75	37.5
旅館・ホテル		25	25	50	12.5	0	25	75	37.5	0	75	25	12.5
非製造業		14	39	47	16.5	10	39	51	20.5	6	45	49	21.5

表 - 3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	19年10～12月実績				20年1～3月実績				20年4～6月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		30	32	38	4.0	32	27	41	4.5	20	45	35	7.5
食料品		33	34	33	0.0	60	20	20	20.0	60	20	20	20.0
繊維・縫製		25	25	50	12.5	50	25	25	12.5	25	50	25	0.0
木材・木製品		33	34	33	0.0	33	34	33	0.0	33	67	0	16.5
紙・紙加工品		33	67	0	16.5	20	60	20	0.0	20	40	40	10.0
窯業・土石		0	50	50	25.0	25	0	75	25.0	0	50	50	25.0
金属・機械		77	8	15	31.0	42	25	33	4.5	17	33	50	16.5
電気機械		30	20	50	10.0	50	8	42	4.0	33	50	17	8.0
印刷・その他		12	50	38	13.0	17	16	67	25.0	0	67	33	16.5
製造業		37	30	33	2.0	41	22	37	2.0	27	43	30	1.5
建設業		21	29	50	14.5	23	31	46	11.5	8	30	62	27.0
卸売業		28	33	39	5.5	26	26	48	11.0	16	47	37	10.5
小売業		11	56	33	11.0	33	56	11	11.0	22	67	11	5.5
運輸業		25	25	50	12.5	0	25	75	37.5	0	25	75	37.5
旅館・ホテル		25	25	50	12.5	0	25	75	37.5	0	75	25	12.5
非製造業		22	35	43	10.5	22	33	45	11.5	12	47	41	14.5

表 - 4 業種別 経常利益 B S I

業種	判断	19年10～12月実績				20年1～3月実績				20年4～6月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		26	33	41	7.5	19	31	50	15.5	10	44	46	18.0
食料品		33	34	33	0.0	20	20	60	20.0	20	70	10	5.0
繊維・縫製		25	50	25	0.0	75	25	0	37.5	50	50	0	25.0
木材・木製品		33	34	33	0.0	0	33	67	33.5	0	33	67	33.5
紙・紙加工品		67	0	33	17.0	20	40	40	10.0	0	25	75	37.5
窯業・土石		25	25	50	12.5	25	0	75	25.0	0	25	75	37.5
金属・機械		54	38	8	23.0	25	25	50	12.5	17	17	66	24.5
電気機械		30	40	30	0.0	25	25	50	12.5	8	50	42	17.0
印刷・その他		0	37	63	31.5	17	50	33	8.0	17	50	33	8.0
製造業		33	36	31	1.0	25	27	48	11.5	14	43	43	14.5
建設業		14	22	64	25.0	8	30	62	27.0	8	30	62	27.0
卸売業		17	22	61	22.0	21	32	47	13.0	5	53	42	18.5
小売業		33	56	11	11.0	11	67	22	5.5	0	78	22	11.0
運輸業		0	50	50	25.0	0	25	75	37.5	0	25	75	37.5
旅館・ホテル		25	25	50	12.5	0	25	75	37.5	0	25	75	37.5
非製造業		18	31	51	16.5	12	37	51	19.5	4	47	49	22.5

表 - 5 業種別 販売価格 B S I

業種	判断	19年10～12月実績				20年1～3月実績				20年4～6月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		14	59	27	6.5	22	59	19	1.5	23	57	20	1.5
食料品		33	67	0	16.5	20	80	0	10.0	40	50	10	15.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		0	67	33	16.5	33	0	67	17.0	0	33	67	33.5
紙・紙加工品		33	67	0	16.5	20	80	0	10.0	60	40	0	30.0
窯業・土石		0	75	25	12.5	0	75	25	12.5	0	75	25	12.5
金属・機械		39	38	23	8.0	33	50	17	8.0	33	50	17	8.0
電気機械		10	50	40	15.0	8	59	33	12.5	8	50	42	17.0
印刷・その他		12	63	25	6.5	17	66	17	0.0	0	83	17	8.5
製造業		20	58	22	1.0	18	64	18	0.0	21	58	21	0.0
建設業		0	27	73	36.5	0	46	54	27.0	0	54	46	23.0
卸売業		17	44	39	11.0	42	47	11	15.5	37	52	11	13.0
小売業		11	89	0	5.5	56	33	11	22.5	44	44	12	16.0
運輸業		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	25	75	0	12.5
非製造業		9	58	33	12.0	27	52	21	3.0	24	58	18	3.0

表 - 6 業種別 仕入価格 B S I

業種	判断	19年10～12月実績				20年1～3月実績				20年4～6月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		63	33	4	29.5	67	31	2	32.5	71	27	2	34.5
食料品		100	0	0	50.0	70	20	10	30.0	80	20	0	40.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		67	33	0	33.5	67	33	0	33.5	67	33	0	33.5
紙・紙加工品		100	0	0	50.0	100	0	0	50.0	100	0	0	50.0
窯業・土石		25	75	0	12.5	75	25	0	37.5	100	0	0	50.0
金属・機械		92	8	0	46.0	92	8	0	46.0	100	0	0	50.0
電気機械		50	40	10	20.0	58	42	0	29.0	67	33	0	33.5
印刷・その他		75	25	0	37.5	67	33	0	33.5	67	33	0	33.5
製造業		69	29	2	33.5	70	28	2	34.0	77	23	0	38.5
建設業		82	9	9	36.5	54	46	0	27.0	62	38	0	31.0
卸売業		44	45	11	16.5	63	32	5	29.0	58	37	5	26.5
小売業		22	78	0	11.0	67	33	0	33.5	56	33	11	22.5
運輸業		100	0	0	50.0	100	0	0	50.0	100	0	0	50.0
旅館・ホテル		75	25	0	37.5	50	50	0	25.0	75	25	0	37.5
非製造業		57	36	7	25.0	63	35	2	30.5	63	33	4	29.5

表 - 7 経営上の問題点（上位項目）

（単位：％）

	問題点	14年		15年			16年			17年			18年			19年			20年					
																			予想					
製 造 業	1 仕入価格の上昇	11	12	13	14	14	22	38	41	30	31	38	40	41	33	50	48	42	35	46	50	55	66	64
	2 売上・受注の減少	62	47	49	52	54	41	36	41	41	50	48	47	46	55	38	52	36	29	37	37	35	39	41
	3 諸経費の増加	2	10	8	6	7	11	9	12	10	10	6	16	15	16	25	11	12	18	18	21	20	14	13
	4 資金繰り難	5	10	10	7	12	8	3	4	4	6	6	7	4	5	5	5	10	9	7	12	10	14	11
	5 販売価格の低下	31	30	48	42	29	30	23	23	17	18	13	22	18	22	22	23	20	20	18	17	24	11	13
	6 先行き見通し難	41	38	38	35	27	29	32	25	22	26	19	18	16	22	20	19	20	24	25	23	20	11	20
	7 過当競争	15	17	19	17	20	19	20	17	17	23	20	24	18	21	12	15	20	16	14	17	8	7	9
	8 為替相場の変動	0	2	2	3	5	8	1	3	3	2	5	2	4	3	3	2	0	4	4	6	4	5	4
非 製 造 業	1 売上・受注の減少	74	79	69	60	59	68	64	63	56	64	66	61	67	65	69	62	54	53	53	60	55	49	55
	2 仕入価格の上昇	9	14	11	2	6	7	16	24	18	22	20	21	13	20	26	31	25	24	24	32	39	37	37
	3 過当競争	28	27	29	25	37	38	36	28	25	29	34	29	33	25	33	36	37	28	31	28	18	27	18
	4 先行き見通し難	26	29	22	31	27	17	14	21	25	22	29	21	18	24	14	18	16	26	24	18	16	22	29
	5 資金繰り難	10	14	16	15	8	13	16	10	6	14	10	14	15	14	12	13	9	14	9	10	16	16	14
	6 販売価格の低下	38	23	27	27	33	30	21	18	19	25	17	16	23	20	29	20	28	19	20	22	18	12	12
	7 諸経費の増加	2	4	0	7	8	3	4	10	7	7	10	9	12	12	9	11	23	10	9	10	8	10	12
	8 金利負担の増加	2	0	4	7	6	5	7	3	1	2	2	2	2	4	2	2	4	7	7	7	6	4	2

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

目の前のパソコンが、<とりぎん>の窓口になります。

とりぎん

法人インターネットバンキング

～インターネットで経理業務のスピードアップ!～

目の前のパソコンが、<とりぎん>の窓口になります。
もちろん専用ソフトは必要ありません。
低コストで経理事務がスピーディに行えます。



料金等払込みサービス
「Pay-easy(ペイジー)」対応

税金等の各種料金をインターネットバンキングで
お支払いいただけます。(取扱収納機関 順次拡大)

サービスメニュー

Internet Banking

サービス		フルWeb	エコノミーWeb
照会・振込サービス	残高照会	○	○
	入出金明細照会	○	○
	振込・振替(当日扱い)	○	○
	振込・振替(予約扱い)	○	○
料金等払込みサービス「Pay-easy(ペイジー)」	各種料金等払込み	○	○
一括データ伝送サービス	総合振込	○	—
	給与振込	○	—
	賞与振込	○	—
	Net集金(口座振替 代金回収)	○	—
	地方納税付	○	—

サービス基本手数料【月額】

Internet Banking

月額基本手数料 (消費税込)	フルWeb 3,150円	エコノミーWeb 1,050円
-------------------	------------------------	---------------------------

サービスに関するお問い合わせ、お申込みは

<とりぎん>ビジネスWeb
サポートセンター



0120-86-4513

受付時間 平日/午前9時～午後7時※ただし銀行の休業日は除きます

TOTTORI
BANK



青い鳥の銀行です。

鳥取銀行

<http://www.tottoribank.co.jp>

平成20年5月20日現在

R2100

古紙配合率100%再生紙を使用しています



発行 鳥取銀行 ふるさと振興部
くらしと経営相談所

〒680 8686 鳥取市永楽温泉町171番地
TEL 0857-37-0220